

# 「歩くための道」が全線開通

みちのく潮風トレイルは、青森県八戸市蕪島から福島県相馬市川浦までの海岸線を中心に設定された「歩くための道」です。これまで、部分的に開通してきましたが、2019年6月9日に全線が開通し、「一本の道」となりました。



**1 kmを超える一本の道**  
みちのく潮風トレイルの取り組みは、世界のロングトレイルの文化を日本に紹介してきた加藤則芳氏が「三陸海岸の国立公園を通るナショナルトレイルを官民協働で」という提唱を発端とし、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震後、環境省の復興事業の一環である、自然の恵みを活用した復興を目指す「グリーン復興プロジェクト」の一つとして進められてきました。

トレイルのルートは地元の人からの意見を通じて設定され、2013年11月以降部分的に開通してきましたが、2019年6月9日に全線が開通し、ようやく「一本の道」となりました。

**洋野町の区間は約27 km**  
本町のみちのく潮風トレイルの区間は角浜から中野までの約27 kmです。  
区間内には、岩盤を掘削した「ウニ増殖溝」や海水浴やサーフィンなどを楽しむ「種市海浜公園」「窓の」ような穴が空いた芸術的な奇岩である「窓岩」、豪快かつ繊細な「中野白滝」などさまざまな見どころがあります。  
本町のトレイルコースでは、海の景色や自然の造形美を楽しみながら、海と人の関わり合いを多面的に知ることができます。

## 町内区間には「ウニ増殖溝」など見どころ多数



- 1** 本町の海岸線では「ウニ増殖溝」を見ることができます。海の岩盤を掘削した溝には常時海水が流れ込み、ウニの餌である昆布・ワカメが豊かに茂っています。豊富な餌を食べることで、身入り抜群のウニが育ちます
- 2** 「種市海浜公園」は、白い砂浜の海水浴場に面した大型海洋公園です。海水浴やサーフィンなどを楽しむことができ、約70張のテントを張ることができます
- 3** 「窓岩」は種市海浜公園の遊歩道沿いにある奇岩で、名前のごとく窓のようにぽっかりと穴が空いた岩です。この岩は「種市層」と呼ばれる8,500万年前頃の地層の一部で、太古の地層と北の荒海が造りあげた芸術的な奇岩です
- 4** 窓岩周辺の岩場にはカキ礁の化石を見ることができる「カキ化石産地」があります。種市層から産出し、干潮時になると岩礁に露出するため、観察しやすくなります
- 5** 「中野白滝」は豪快さと繊細な優美さを併せ持つ、連続した二段の大滝です。四季折々の美しい自然と滝を心ゆくまで満喫できます
- 6** トレイルのルートには通行人数を数えるカウンターが設置されています。歩きながら探してみましょ

## 三陸ジオパークとみちのく潮風トレイル体験会



阿部さん（中央）からウニ増殖溝の説明を受ける参加者

6月29日、三陸ジオパークとみちのく潮風トレイル体験会が町内で行われ、町内外の10人が参加。トレイルのコースを歩きながらジオパークのサイトを巡りました。ジオパークのサイトとは、自然の恵み・厳しさと人との共生を体感するジオパーク（大地の公園）の見どころとなる場所のことです。

参加者は種市高校を出発し「川尻津波供養塔」や「ウニの増殖溝」、三陸ジオパークのサイトに認定されている種市海浜公園（種市層）の「窓岩」や「カキ化石産地」を見学。ひろのまきば天文台長の阿部俊夫さん（77歳・八木北町）による詳細なガイドで、トレイルを楽しみながら町内のジオパークのサイトの魅力に触れました。